

子ども達のために

約3年かけてじっくり計画 細部までこだわりを形にした家

次世代の住まい CASE 55 宮城県亘理郡亘理町 Oさんの家



家族は玄関ホールの脇にあるシューズクローゼットで靴を脱いで家に入りする動線にしました。収納下に窓を設置し、明るさもアップ。



新居に越して2週間、モミの木でつくってもらったダイニングテーブルが届くのが待ち遠しいOさん。翌日は同世代のお子さんがいるご家族を招いてピザパーティーをする予定。「家を建てて、やりたいことが増えました」と楽しい計画が目白押しです

「子どもが独立するまでの十数年を、一緒に楽しく過ごした」とお子さんの就学前にマイホームを建てたOさん。約3年間比較検討して選んだのは、子どもにやさしいモミの木とスビンオフ壁を用いたアヴィエスマリーハウスでした。当時住んでいたアパートの向かいの、アヴィエスマリーハウスで家を建てたり家族からいい評判を聞いていたこと、営業担当の説明や対応が丁寧だったことを決め手でした。打ち合わせは、メールで二度めにやりとりしながらスムーズに進行。上棟式はO主人の誕生日に合わせて、大勢の友人をよんでも盛大に行ないました。子どもたちにも、いい思い出になつたと思いまます」と振り返ります。

O主人こだわりのモミの木とスビンオフ壁を贅沢に使用した新居は、猛暑が続いた夏も涼しく、冷房をほとんどつけずに過ごせるほど。Oさんは、料理や洗濯、子どもたちの動きを徹底的に考えた間取りのお陰で、家事がグンとラクになりました。O夫人は、「暖かい我が家で過ごす冬を楽しみにしている」と話します。

担当より一言

営業
石井 義人